

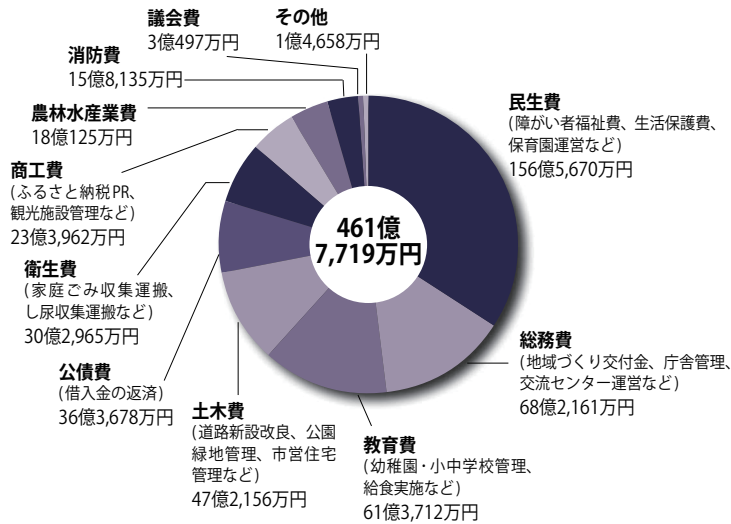
決算報告

令和5年度

歳出

(市が使ったお金)
461億7,719万円
前年度比
△15億9,068万円(-3.3%)

障がい者介護給付費事業や放課後児童健全育成事業などの民生費が増加しましたが、事業完了に伴う施設建設事業費(東桜小学校など)が減少したことにより、全体としては前年度比3.3%の減額となりました。



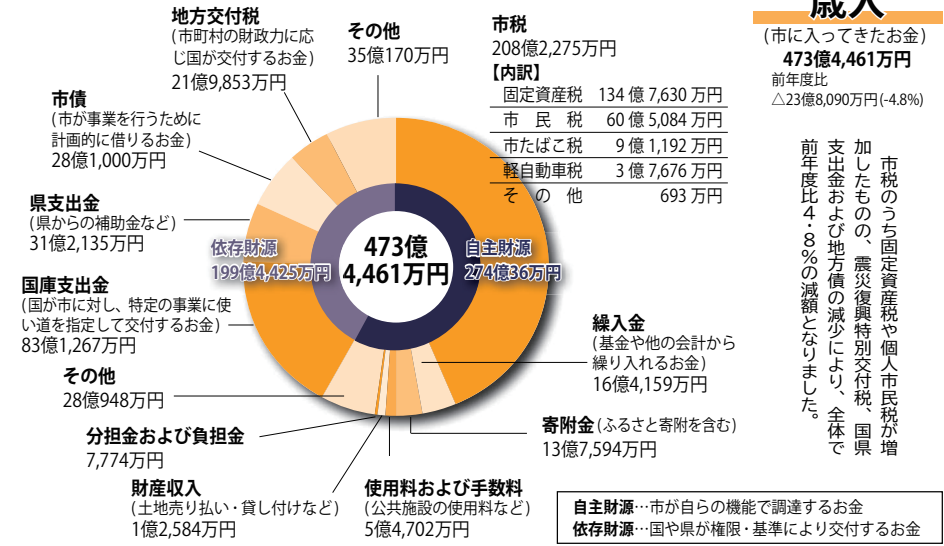
令和5年度(令和5年4月1日~令和6年3月31日)の市の決算が、9月の市議会通常会議で認定されました。

問い合わせ 財政課 ☎0197-72-8249

歳入

(市に入ってきたお金)
473億4,461万円
前年度比
△23億8,090万円(-4.8%)

市税のうち固定資産税や個人市民税が増加したものの、震災復興特別交付税、国県支出金および地方債の減少により、全体で前年度比4.8%の減額となりました。



自主財源…市が自らの機能で調達するお金
依存財源…国や県が権限・基準により交付するお金

令和5年度の主要事業

北上駅東口広場再整備事業(土木費)

官民連携による北上駅東口駐車場土地活用事業に伴う北上駅東口広場の再整備を行いました。整備完了に伴い、令和5年10月28日にオープニングセレモニーを行いました。



北上陸上競技場公認施設改修事業【教育費】

支出済額…2億134万円
ウエスタンデジャルススタジアムきたかみ(北上陸上競技場)の日本陸上競技連盟第一種公認を更新するため、走路全面の全天候舗装などの改修を行いました。

子ども・妊産婦医療費給付事業【民生費】

支出済額…2億3754万円
妊産婦および出生から18歳までの

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関連事業費

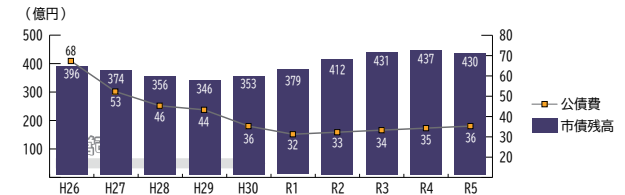
主な事業	金額
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金	9億5,186万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	2億8,432万円
キャッシュレス決済推進事業	1億2,643万円
低所得子育て世帯生活支援特別給付金	8,803万円
小規模企業者家賃支援事業	3,489万円

◆令和5年度の新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関連事業
総額…19億7263万円
ワクチン接種事業のほか物価高騰対策として補助金や給付金などの市民生活や経済活動活性化のための事業を行いました。5年度は電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金が決算額に大きく影響しました。

子どもに医療費を給付しました。また、令和5年12月診療分から子どもの医療費に係る所得制限を撤廃しました。

公債費・市債残高の動き

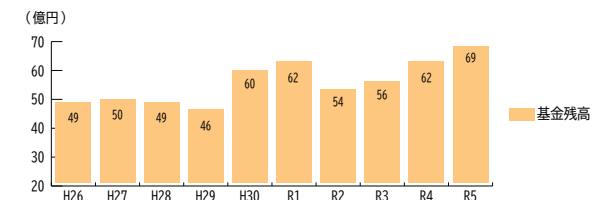
平成23年度~30年度の経営改革により市債残高(借金)の縮減に取り組んでいましたが、近年は東部地区統合小学校建設事業(東桜小学校)や笠松小学校改築事業など普通建設事業費の増加に伴い、市債残高は増加しています。



基金残高の動き

(財政調整基金と市債管理基金の合計)

歳出を抑制し基金(貯金)の取り崩しを最小限に抑えた結果、増加しています。今後も健全な財政運営のため、適切に基金残高を管理していきます。



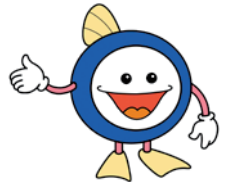
■各事業の決算額一覧

名称	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	70億2,617万円	70億1,670万円	947万円
後期高齢者医療	17億6,391万円	17億6,049万円	342万円
介護保険	85億5,103万円	85億2,236万円	2,867万円
工業団地事業	19億8,960万円	19億4,283万円	4,677万円
駐車場事業	1億3,287万円	9,666万円	3,621万円
宅地造成事業	1,447万円	1,394万円	53万円
電気事業	1億6,468万円	1億6,468万円	0万円
合計	196億4,273万円	195億1,766万円	1億2,507万円

特別会計

七つの特別会計の合計は、歳入が196億4,273万円、歳出が195億1,766万円となりました。
令和5年度も全ての特別会計で黒字決算となりました。

下水道事業会計



下水道マスコットキャラクター
スイスくん

80061

■問い合わせ：下水道課 ☎0197-721

◆下水道事業会計とは
下水道事業は、サービスの提供を受ける人がその費用を負担するという考え方を基本とし、使用料により運営されています。このため、独立した会計を設けて、経営・財務状況を毎年度明らかにしています。

◆二つの収支決算
下水道事業では、民間企業と同様に「複式簿記会計」により経理を行っているため、収入と支出が次の二つに区別されます。

①下水道施設を維持管理するための収入と支出（当年度の損益となる）
②下水道施設を建設するための収入と支出（資産や負債となる）
決算も二つに分かれるため、経営成績と財政状況がより明確になります。

①下水道施設を維持管理するための収入と支出

収入27.3億円 - 支出26.8億円 = 0.5億円（純利益）

【収入】

項目	金額
下水道使用料	16.2億円
一般会計からの補助金	6.5億円
その他	4.6億円
合計	27.3億円

POINT

一般会計や特別会計と異なり、減価償却費など現金の支払いが伴わない費用も計上しています。

【支出】

項目	金額
減価償却費	14.3億円
汚水処理費用	9.8億円
借入金利息	2.7億円
合計	26.8億円

②下水道施設を建設するための収入と支出

収入38.4億円 - 支出51.1億円 = △12.7億円

【収入】

項目	金額
企業債（借入金）	24.0億円
一般会計からの出資金	4.5億円
国からの補助金	9.5億円
受益者負担金	0.4億円
合計	38.4億円

POINT

②の収支は通常、収入額が支出額に対して不足します。この不足分は、減価償却費など現金の支払いを伴わない費用によって蓄えられた資金で補填しています。

【支出】

項目	金額
企業債（借入金）などの償還	21.4億円
処理場の建設・更新費用	26.8億円
下水道管の建設・更新費用	2.9億円
合計	51.1億円

きたかみさん家の家計簿

当市の令和5年度の一般会計決算額を、身近に感じていただけるよう年収500万円の家計に置き換えてみました。
※実際の家計との比較になじまない部分もあります。

収入（歳入）

家族で稼いだお金

給料（市税）	220万円
パート収入（寄附金、施設使用料など）	30万円
資産運用収入（土地の売り払い・貸し付けなど）	1万円
合計	251万円

稼ぎ以外のお金

親からの仕送り（地方交付税、国・県からの補助金など）	181万円
借金（市債）	30万円
預金の取り崩し（基金、前年度繰越金など）	38万円
合計	249万円

収入合計500万円

※上記のほかに、預金残高が104万円あり。

支出（歳出）

家族の生活費

食費（職員給与などの人件費）	62万円
光熱費などの雑費（備品購入、委託料などの物件費）	96万円
町内会費（補助金など）	71万円
車や家財などの修理代（施設などの維持補修費）	7万円
医療費・介護費（生活保護などの扶助費）	104万円
合計	340万円

生活費以外の支出

借金の返済（公債費）	39万円
家の増改築費（公共事業など）	58万円
子どもたちへの仕送り（他会計への繰出金）	32万円
預金（投資、出資金、翌年度繰越金）	31万円
合計	160万円

支出合計500万円

※上記のほかに、借金残高が466万円あり。

北上市の財政状況

◆健全化判断比率

市町村などの財政の健全度を示す健全化判断比率の数値は、いずれも基準値を下回り健全な状態です。
実質公債費比率は、公債費のピークである平成26年度以降は改善傾向が続いており、近年は低い数値で安定しています。
将来負担比率は、市債の償還が進み、健全な状態が続いているものの、小・中学校の新築・長寿化などの必要な整備を行ってきた結果、令和3年度から増加に転じています。
なお、各特別会計や公営企業会計は、単年度決算であるため、実質赤字比率・連結実質赤字比率は算定されていません。

◇用語の解説
実質公債費比率
借金の年間返済額の大きさを市の財政規模（収入）に対する割合で表したものです。数字が小さいほど、借金が少なく資金繰りがうまくいっているということです。
将来負担比率
将来返済する分も含めて借金全体の大きさを市の財政規模（収入）に対する割合で表したものです。数値が小さいほど、将来の負担が少ないということです。

■健全化判断比率の動き

